

専任教員の研究・社会活動報告

(2010年4月～2011年3月)

安達和志

1 主要な著書論文

「地教行法の変遷と教育委員会制度」日本教育法学会年報40号（有斐閣，2011年）

2 主要な社会活動

1997年4月～ 大田区消費者被害救済委員会委員

1997年6月～ 日本教育法学会理事

1999年12月～ 墨田区情報公開・個人情報保護審査会副会長

2005年4月～2010年10月 川崎市情報公開・個人情報保護審査会副会長

2005年10月～ 横須賀市個人情報保護専門委員

2010年4月～ 逗子市個人情報保護運営審議会委員

阿部浩己

1 主要な著書・論文

「強制失踪なき世界へ——国際人権運動の光芒」研究紀要（財団法人世界人権問題研究センター）15号（2010年3月）

『忘れられた人々——日本の「無国籍」者』（陳天璽編，明石書店，2010年3月）

『無国籍の情景——国際法の視座，日本の課題』（国連難民高等弁務官日本事務所，2010年4月）

「これは日本社会の人権問題である——朝鮮学校の排除はどこが問題なのか」世界2010年5月号
「パレスチナの民族浄化と国際法」ミーダグ（パレスチナ・対話のための広場）編『鏡としてのパレスチナ——ナクバから同時代を問う』（現代企画室，2010年5月）所収

「難民条約における迫害の相貌」渡邊彰吾・大橋毅・関聡介・児玉晃一編『日本における難民訴訟の発展と現在』（現代人文社，2010年5月）所収

「権利義務の構造」松井亮輔・川島聡編『概説 障害者権利条約』（法律文化社，2010年5月）所収

- 「今こそ人権政策への転換を」RAIK（在日韓国人問題研究所）通信 119号（2010年6月）
- 「すべての人々に尊厳と正義を（3），（4），（5）」わいわいテーブルクロス（特定非営利活動法人くまもと子どもの人権テーブル会報誌）26，27，28号（2010年6月，10月，2011年2月）
- 「起源の暴力と軍事占領——沖縄とパレスチナをつなぐ抵抗の論理（座談会）」『インパクション』175号（2010年7月）
- 「法科大学院の「現実」」神奈川ロージャーナル3号（2010年7月）
- 「三つの認識ギャップ——定期報告審査，「慰安婦」問題，個人通報制度」学術の動向 15巻9号（2010年9月）
- 『国際法の暴力を超えて』（岩波書店，2010年9月）
- 「「文明化の使命」と難民の現在」愛敬浩二編『講座 人権論の再定位 2 人権の主体』（法律文化社，2010年10月）所収
- 「法科大学院の授業——そこに知的興奮はあるか」法学セミナー 2010年10月号
- 「APECに想う」グローブ（財団法人世界人権問題研究センター）63号（2010年10月）
- 「国内救済措置としての国際人権訴訟」速報判例解説7号（2010年10月）
- 「「慰安婦」訴訟・再考——国際法の歴史／歴史の中の国際法」女性・戦争・人権（行路社）10号（2010年12月）
- 『欧米諸国の「公務員の政治的自由」——その比較法的研究』（共著，日本評論社，2011年1月）
- 「女性差別撤廃条約と日本（図書紹介）」カッティング・エッジ（北九州市男女共同参画センター，2011年2月）
- 「外国人入権基本法制への提言」外国人入権法連絡会編『日本における外国人・民族的マイノリティ入権白書 2011年』（外国人入権法連絡会，2011年3月）
- 「国際社会の憲法秩序としての国際人権法——最高裁判決を乗り越える」速報判例解説8号（2011年4月）
- “Book Review: Refugee Law and Practice in Japan, by Osamu Arakaki”, *Japanese Annual of International Law*, Vol. 53 (2011)

2 主要な社会活動

- 日本学術会議特任連携会員（国際人権ネットワーク対応委員）
- 日本平和学会副会長・理事
- 国際人権法学会理事，ジェンダー法学会理事，国際法学会評議員
- 国立民族学博物館共同研究員
- （財）世界人権問題研究センター嘱託研究員
- 速報判例解説（TKC）編集委員
- 特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ理事長
- （社）自由人権協会評議員
- 川崎市平和館展示検討委員会委員
- 川崎市人権啓発推進協議会委員

栗田陸雄

1 主要な著書・論文

特記事項なし

2 主要な社会活動

2010年4月～ 横浜弁護士会綱紀委員

1999年7月～ ドイツケルン大学日本アルムニ会常務理事

澤田久代

1 主要な著書・論文

「民法（債権法）改正の要点」佐瀬正俊・良永和隆・角田伸一編（共著 ぎょうせい，2010年1月）

2 主要な社会活動

特記事項なし

鶴藤倫道

1 主な著書・論文

松本恒雄・潮見佳男（編）『判例プラクティス 民法I 総則・物権』（共著，信山社，2010年3月）210頁，214頁，216頁（消滅時効の起算点に関する3件の判例を解説）

2 主要な社会活動

講演「債権法改正に向けての債務不履行法の体系的な位置づけについて」2011年3月2日 於：横浜弁護士会

仁平正夫

1 主要な著書・論文

特記事項なし

2 主要な社会活動

平成 17 年 4 月～ 横浜家庭裁判所調停委員

森田 明

※ 2008 年 10 月から 2011 年 3 月まで

1 主要な著作・論文

「神奈川大学法科大学院における臨床法学教育の概要」神奈川ロージャーナル 1 号（2008 年 12 月）

「弁護士業務と個人情報保護制度に関する判例と実務の動向」専門実務研究 3 号（共著，2009 年 3 月）

「情報公開訴訟におけるインカメラ審理の立法化」自由と正義 60 巻 8 号（2009 年 8 月）

「判例評釈 情報公開訴訟におけるインカメラ審理の可否に関する決定」神奈川ロージャーナル 2 号（2009 年 9 月）

「情報公開条例における文書不存在に関する横浜市審査会答申の検討」専門実務研究 4 号（共著，2010 年 3 月）

「住民訴訟の諸問題——全国都道府県議会議員野球大会をめぐる判例を素材に——」専門実務研究 4 号（共著，2010 年 3 月）

「医療者における患者の個人情報の取扱いについて」医療判例解説 25 号（2010 年 4 月）

『情報公開を進めるための公文書管理法解説』日本評論社（共著，2011 年 3 月）

2 主要な社会活動

1990 年 12 月～ 医療事故情報センター理事

2000 年 7 月～ 逗子市個人情報保護委員・情報公開審査委員

2004 年 3 月～ 横浜地裁医療関係訴訟協議会委員

2004 年 8 月～ 神奈川医療問題弁護団代表

2004 年 10 月～ 神奈川県個人情報保護審査会委員

2006 年 5 月～ NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長

2009 年 8 月～ 情報公開・個人情報保護審査会等委員交流フォーラムにて、「審査会制度の問題点と文書不存在への対応」の報告

2009 年 10 月～ 上海・復旦大学における国際シンポジウムにて、「日本の医療訴訟と医療をめぐる法制度の動向」の報告

2010 年 6 月～ 横浜弁護士会綱紀委員会委員長

矢口俊昭

1 主要な著書・論文

特記事項なし

2 主要な社会活動

日本公法学会理事

神奈川県個人情報保護審査会会長